

南区

令和5年度ルスツ・リゾートであそぼう!
定山溪地区青少年育成委員会

日時 令和5年8月3日(木)

場所 ルスツ・リゾート

屋外で元気にあそぼう

定山溪地区青少年育成委員会は、小・中学生の交流を計る目的で20年以上継続している行事として、毎年夏休み期間に、ルスツ・リゾートであそぼう!という行事を行なっています。

今年も8月3日(木)に令和5年度ルスツ・リゾートであそぼう!を実施しました。小学生15名(100%参加)、中学生11名(65%参加)、幼児1名、ミニ児童館先生1名、育成委員3名、父母26名の総勢57名の参加となりました。天候にも恵まれ、大きなジェットコースターを始めとしたたくさんのアトラクションに乗り、楽しい1日を過ごしました。

定山溪地区小・中学生全体の約81%が参加する行事であり、ミニ児童館の先生方の協力も得て、子どもたちが屋外で1日楽しく過ごす行事として、これからも続けていきたいと思っています。



手稲区

“地域安全マップ作り”活動について
稲穂金山地区青少年育成委員会

日時 令和5年6月、7月

場所 手稲西小学校ほか

子どもたちの笑顔とともに

稲穂金山地区青少年育成委員会は、平成19年度から手稲西小学校4年生の総合学習「地域安全マップ作り」に協力しています。

昨年度は熊の出没により中止となりましたが、今年も6月8日に事前学習を行い、6月27日と7月7日の両日で児童51名が8班に分かれ、それぞれの班で「リーダー・地図係・インタビュー係・時計係・写真係」と役割を決め、暑い中“地域の安全な所・危険な所・素敵な所”を元気に2時間ほど調査しました。7月20日には、各班がまとめたマップの発表会があり、子どもたちが大人とは違った見方をしているのだと感じさせられる場面もありました。

この活動を通して、子どもたち自身が地域の安全・安心できる所を見つけて、より良い環境作りをしてほしいと願っています。同地区青少年育成委員会は、今後もこの活動に協力していきたいと思っています。



札幌市青少年育成委員会とは

地域において子どもたちの健全な育成に関する実践活動を推進するため、市内90地区(連合町内会単位)に組織されています。

市長から選任を受けた委員が、スポーツ・文化事業や環境対策事業などのさまざまな事業を実施しています。

札幌市青少年育成委員会委員の任期は3年で、現在の委員の任期は令和5年4月1日から令和8年3月31日までとなっています。任期の途中でも新たに委員になることができます。詳しくはお問い合わせください。



※令和5~7年度の各区議長のみなさまです!(1名欠席)

発行

札幌市子ども未来局子ども育成部子どものくらし・若者支援担当課

札幌市中央区南1条東1丁目大通バスセンタービル1号館3階
電話:011-211-2947 FAX:011-211-2943

SAPPORO



さっぽろ市
02-G01-23-1913
R5-2-1237

青少年育成委員会ニュース



地区の活動紹介

毎年11月20日は「さっぽろ子どもの権利の日」

第36号

令和5年10月発行

西区

はちけん夢あかり

八軒中央地区青少年育成委員会

日時 令和5年7月29日(土)

場所 八軒中央公園・八軒児童会館

みんなの絵を、温かなあかりとともに

7月29日(土)、八軒中央公園・八軒児童会館(西区八軒7条東1丁目)で「はちけん夢あかり」を開催しました。このイベントは、地域の幼稚園・保育園・小学校・児童会館に働きかけ、子どもたちが制作したちょうちんを灯すもので、今回で17回目を迎えます。

当日は大賑わいの「八軒中央納涼まつり」の会場で、約550個のちょうちんを点灯しました。日が暮れてきてからちょうちん一つ一つにあかりを灯していくと、自分が作ったちょうちんを見て喜び記念撮影をする子どもや、



地域の子どもたちが描いたちょうちんの絵を温かく見つめる地域の方々の姿がありました。多くの皆さんに個性あふれるちょうちんと幻想的で温かなあかりを楽しんでもらうことができました。

また、この日の前に地区センターで製作を行いました。子どもたちと触れ合い、委員にとっても良い時間となりました。

東区

夏のふれあい事業in砂川

栄西地区青少年育成委員会

日時 令和5年7月9日(日)

場所 北海道子どもの国

遊んで・遊んで北海道子どもの国!

7月9日(日)、栄西地区青少年育成委員会が主催する「夏のふれあい事業」(遊んで・遊んで北海道子どもの国)を開催しました。令和元年度以来4年ぶりのバスツアーです!

当日は、栄西小学校・栄北小学校の児童79名が参加し、委員19名の引率のもと、9:00にそれぞれの学校をバスで出発し10:30頃に到着しました。

当日の砂川は30度を超える猛暑に見舞われ、熱中症も心配されましたが、午前中は予定通り「ふしぎの森」内でクイズスタンプラリーを楽しみました。

みんなで仲良くお弁当を食べた後、午後は更に猛暑となることが懸念されたため、予定を変更し、「ピラミッド」の中(屋内)で、ドームスライダーやブランコなどの遊具遊びを楽しみ、最後に記念写真を撮影しました。

子どもたちの笑顔が溢れる中、大きな事故もなく、無事に4年ぶりのバスツアーを終えることができました!



中央区 東北らんど&親子盆おどりinサッポロファクトリー

日時 令和5年7月29日(土)、30日(日)

東北地区青少年育成委員会

場所 サッポロファクトリー西広場

子どもが輝く地域活動の未来を見据えて

7月29日(土)、30日(日)に「東北らんど&親子盆おどりinサッポロファクトリー」が開催され多くの親子、高齢者が世代を超えて来場し、楽しいひとときを過ごしました。この行事は子どもによる子どものための夏まつりと位置付けて、青少年育成委員会の声掛けにより町内会や業者の協力で子ども会や大学生が運営・実施して今年で21回を数えます。

今年は30℃を超える猛暑の中、ヨーヨー釣りなど8つの縁日ブース、焼き鳥などの出店、やぐらを囲む親子盆おどりなど子ども主体で展開しており、年々来場者数は記録を更新しています。

これからも子どもたちにいろいろな体験や経験の場を提供しつつ、この地区がふるさととなるように活動していこうと考えています。



清田区 あしりべつ川でヤマメの稚魚放流

北野地区青少年育成委員会

日時 令和5年5月20日(土)

場所 あしりべつ川

稚魚放流で地域の賑わいが戻ってきた

5月20日(土)午前11時から、あしりべつ川に架かる北野ふれあい橋付近(北野6条3丁目)で、ヤマメの稚魚放流が行われました。この行事は、子どもたちにあしりべつ川への愛着を持ってもらい、ヤマメの住む清流を守っていこうと毎年実施しているもので、今年で41年目の実施となります。

今年は通常開催となり、知野学区長を始め多くのご来賓や子どもたちが来場して大変賑わいました。

この日放流するのは喜茂別町の養殖場から運ばれてきた5センチほどのヤマメの稚魚、約1万8000匹。

会場に稚魚が到着するとその数の多さに参加者から歓声が上がりました。



北区 第22回新川さくら並木ウォーキング

新川地区青少年育成委員会

日時 令和5年6月11日(日)

場所 新川さくら並木

新緑の中でウォーキング!

新川さくら並木は、平成10年から12年にかけて、住民およそ400人が新川沿線7.5kmにさくらの若木755本を植樹したことで完成し、現在では道内有数の桜並木となっています。

新川さくら並木連合町内会が主催する「新川さくら並木ウォーキング」は、平成13年に「クリーンウォーキング」として開催されるようになり、毎年300人~400人の地域住民が参加しています。

今年は6月11日(日)に快晴の中で開催され、22回目を迎えました。367人の参加者等が武蔵女子短期大学前、新道下、新川西お祭り広場、見はるかす緑地公園の4カ所から各町内会のゼッケンを付け、熱中症対策にも細心の注意を払いながらスタート。久しぶりに会う地域の方たちと会話も弾み、笑顔の絶えないウォーキングを楽しみ、ゴールの新川サイロ公園到着後、お弁当と飲み物を受け取り思い思いに過ごしていました。



白石区 第33回田植え体験ツアー

白石地区青少年育成委員会

日時 令和5年5月20日(土)

場所 栗山町「きなうすファーム」

おいしいお米できるかな

5月20日(土)「そらち南農協」との共催で実施しました。食べ物の大切さを学び、農業従事者の方々との交流を図ろうと平成18年にスタートした恒例事業ですが、コロナ禍もあって4年ぶりの開催となりました。

8時45分、育成委員を含め19人がバスで出発、現地で北海道介護福祉学校の生徒や農協・役場の職員のみなさんから30数人と合流して賑やかにスタートしました。爽やかな初夏の日差しを浴びながら裸足で水田に入り、スタッフから手渡された「ゆめぴりか」の苗を丁寧に植え付けていきます。なかには泥に足を取られ、田んぼの真ん中で尻もちをつくもいて、辺りは終始歓声に包まれていました。

最後に自分の植えた苗の前に名札を立てて、秋に予定されている「稲刈りツアー」で、たわわに実った黄金色の稲穂に再会するのを楽しみに栗山町を後にしました。



厚別区 厚別区民まつり「輪投げコーナー」

厚別区青少年育成委員会

日時 令和5年7月28日(金)、29日(土)

場所 ふれあい広場あつべつ、科学館公園

4年ぶりの「輪投げ」が作る地域の輪!

32回目を迎えた「厚別区民まつり」ですが、コロナによる中止を経て4年ぶりの開催となりました。厚別区青少年育成委員会は「輪投げコーナー」を出店しました。

2日間とも晴天に恵まれ、気温が高く暑い日でしたが、多くの子どもやそのご家族が参加してくれました。用意した景品は2日間ともに予定時刻前には全て無くなり、大盛況のうちに終わりました。

小さな子どもたちが果敢に挑戦するほほえましい姿に、みんなの笑顔があふれていました。子どもたちの笑顔を見るために、どういう景品が喜ばれるのか頭を悩ませながら準備を進めた育成委員会委員も、ホッと胸を撫でおろしました。



テントの中は蒸し暑く、従事する育成委員も大変でしたが、元気な子どもたちの笑顔に癒された2日間でした。

なお、収益は、厚別区の成人式などの助成に充てられます。

豊平区 4年ぶりの天文観望会とおはよう運動

南平岸地区青少年育成委員会

日時 令和5年7月23日(日)ほか

場所 平岸小学校ほか

星空観察をしたよ!

7月23日(日)、天文観望会を開催し、24組80名の親子が参加しました。

あいにくの天気で、前半は室内での天文スライドショーとなりましたが、途中から雲が晴れ、平岸小学校のグラウンドで、月や夏の大きな三角形を見ることができました。

この観望会には、藻岩高等学校2年生2名が、ポスターの制作、学校への配布、当日の運営などに携わっており、高校生が地域のまちづくりに貢献できる機会にもなっています。

また、小学校での「おはよう運動」が本格的に再開しました。育成委員のことを知らない子どもたちも多く、初日は「だれ?」と言っていた子どもたちも、2日目からは元気に挨拶をしてくれました。

コロナ禍では、これまで恒例だった活動のほとんどが中止となってしまいましたが、今年は、新たな気持ちで新しい活動に取り組んでいきたいと思えます。

